



内親王殿下御誕生

内親王殿下御誕生あらせられたるにつき即日官報號外を以て左の如く中外に公表された。

宮内省告示第十五號

皇后陛下本日午前四時四十二分赤坂離宮に於て御分娩内親王御誕生あらせらる

昭和二年九月十日

宮内大臣 一 木 喜 徳 郎

賜劍の御儀

皇后陛下には日出度も内親王殿下御誕生遊ばされたるにつき早くも御誕生の十日午後御劍を賜ふの儀が赤坂離宮旭の間に於て行はるべくこの御劍及び御袴は珍田侍從長が勅使として賜はる筈である、なほ御七夜の來る十六日には御父陛下御宸筆の名記を賜はる即ち御命名の儀並に賢所、皇靈殿、神殿に御奉

告儀、續いて古式に則り浴湯の儀の諸儀が莊嚴裡に舉行さるゝことに決つた。(九月十二日東京日々新聞)

第二皇女御體重 (宮内省發表)

新内親王殿下の御體重、御身長につき宮内省では十日午前七時五十分左の通り發表した。

御體重 三千三百グラム(八百八十匁)

御身長 五百八ミリメートル(一尺六寸八分)

きのふ初めて親しく御授乳

皇后陛下も新皇女様も御健やか

目出度くも第二皇女を擧げさせられた皇后陛下には御産後の御經過御順調にわたらせられおよろこびに明けた十一日午前十時頃には新皇女様に親しく初の御授乳を遊ばされたと承る、御父陛下におかせられても御姉君とならせ給うた照宮さまを伴はせられてしばし皇子室をお訪ねあらせられたと拜するは長き極みである、新皇女さまにも極めて御健かにて山岡女官が一切のお世話を承つてゐる、なほ十二日には來る十六日の御七夜にとり行はせらるゝ御命名の儀、宮中三殿奉告の儀、並に浴湯の儀等の時間割を決定することになつた、皇后宮職の岡本事務官は『新皇女さまには十一日午前四時半頃初めて木内乳

人が御乳を差上げました。晝間は勿論御寝につかせ給ふまでは皇后陛下御親から御授乳遊ばされます、陛下の御乳は極めて御充分の御模様に向ひました』と謹んで語つてゐた。(九月十二日東京日々新聞)

第二皇女御命名

今上陛下第二皇女には去る十六日七夜の佳日に御命名式行はせられ左の如く宮内省告示を以て發表せられた。

九月十日午前四時四十二分御誕生あらせられたる内親王御名を祐子と命ぜられ久宮と稱せらる

昭和二年九月十六日

宮内大臣 一木喜徳郎